

## === 『清張さんの道を歩く会』(略称=歩く会)とは ===

### ★設立経緯★

▼▼当会は、北九州市出身の作家「松本清張」さんの《功績を称える》目的で、平成 27 年 7 月に設立しました。▼「昭和の文豪」「国民作家」と呼ばれた松本清張さんの「ふるさと」は小倉です。復員直後の 8 年間、清張さんは、家族と一緒に現在の北九州市小倉北区《黒住町》(当時の黒原営団住宅)に暮らしていました。その頃、執筆活動を始め、直木賞候補作の「西郷札」や芥川賞受賞作の「或る『小倉日記』伝」を發表しました。黒住町は、いわば「清張文学の原点」「清張文学発祥の地」です。

▼▼ところが、平成 25 年 9 月、清張さん一家が住んでいた家屋《清張旧居》が解体されました。もともと、地元には記念碑などなかったので、清張さんを語るものは何もなくなりました。▼当時の清張さんや家族の方たちを知っている人は、ほとんどいなくなり、また、この町に新しく住むようになった人たちの中には住んでいたことさえ知らない人も多くなってきました。《このままでは、清張さんが黒住町に住んでいたことも忘れられてしまう》と危機感を覚えました。

▼▼そこで、昭和を代表する文豪「松本清張」さんが《この町に住み作家活動を始めた地》であることを《広く皆さんに伝え》また《次世代にも伝えよう》と、活動を始めることにしました。▼地元の有志を中心に、ほとんどお金をかけない「リユース(再利用)方式」で、この地域の特徴「清張さんの文学のふるさと」を「特色ある地域づくり」に生かすことにし、運営母体として「清張さんの道を歩く会」(略称=歩く会)を起ち上げました。▼会員は平成 30 年 4 月 1 日現在 34 名です。

### ★活動状況★

- ①【しのぶ会の開催】▼平成 27 年 8 月 4 日、清張さんの命日に、地元の黒住町公民館で、初めての「足立山麓の松本清張さんをしのぶ会」(清張忌)を開催。以後、毎年継続開催。
- ②【公園の名称変更】▼黒住町内の清張旧居跡から徒歩 2 分の距離にある「黒住公園」(約 3,200 m<sup>2</sup>)を「くろずみ清張公園」に改称することを、黒住町内 5 自治会に提案。▼604 名の署名を添えて北九州市に要望。平成 28 年 4 月 1 日付で改称されました。▼同月、除幕式を行い、清張さん作詞の「足立中学校」校歌を、同校 17 名の生徒が披露しました。▼なお、清張さんの名前使用については、北九州市立松本清張記念館を通じ松本家へお願いし、書面で承諾をいただきました。
- ③【清張文庫の開設】▼校区内で清張作品を誰でも気軽に読めるよう「清張文庫」の開設を「足原校区まちづくり協議会」へ要望し、同会が運営を決定。▼本は主に北九州市内住民の方々の協力で 1,200 冊の献本が集まりました。▼平成 29 年 8 月 4 日、第 3 回「しのぶ会」の日に、足原市民センター内に、1,000 冊規模の「あしはら清張文庫」を開設。▼同年 11 月 26 日、霧丘(きりがおか)中学校に、200 冊規模の「きりがおか清張文庫」を開設。同文庫は《清張さんを次世代に繋ぐ試み》です。▼より充実した文庫にするため献本活動は継続していますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。▼なお、清張さんの名前使用については、公園同様、両文庫とも北九州市立松本清張記念館を通じ松本家へお願いし、書面で承諾をいただいています。
- ④【紙芝居の上演】▼松本清張さんの《顕彰活動》および《地元での清張作品普及活動》の一環として、地域調べサークル「菊ヶ丘『語ろう会』」(小倉北区)制作の記録型紙芝居『清張さんの歩いた道』を上演する目的で「歩く会」の黒住町在住の女性会員 11 名で「くろずみ一座」を起ち上げました。▼清張作品がもっと多く読まれ、地元出身の「松本清張さん」を知らない人たちや若い世代の人たちが、清張作品に接するきっかけになればよいと期待しています。

★事務局住所 〒802-0056 北九州市 小倉北区 黒住町 14-5 小松康希(こうき)方

★【電話】 固定=093-922-8618 携帯=090-3416-9055

(平成 30 年 4 月 1 日 清張さんの道を歩く会)